

シェールガス革命の暗部

オバマ大統領のシェールガス革命が、最近の世界の混乱を作りだしています。

1・都知事選における小泉・細川元首相による反原発連合の結成。

2・ソチオリンピック開会式の欧米諸国首脳の欠席と、ウクライナの政変。

3・みんなの党代表の渡辺氏の金銭疑惑の発覚。

等はすべて米国の仕業かもしれません。

1の理由は、日本国民に反原発の世論を喚起させて、火力発電の増強を促しシェールガスを沢山使わせる方向に導こうとしています。

2の理由は、ソチオリンピックで欧米諸国の欠席は、マスコミではロシアの同性愛宣伝禁止法が、同性愛者の人権擁護のための抗議であると言われていますが、実はウクライナ国の親ロシア派ヤヌコビッチ大統領を追い出して、親ヨーロッパ派の政権を作るための時間稼ぎでした。内乱状態にしてロシアの天然ガスをEUへ輸出するパイプラインの拠点ウクライナを混乱させるためです。

混乱が拡大しパイプラインが破壊されるような出来事が起きればエネルギー危機がぼっ発します。その時救世主として米国が堂々とシェールガスをEU諸国へ販売できるのです。米国の資源メジャーの

画策かもしれません。

3の理由は、安倍首相は異次元緩和でデフレからの脱却を目指しているので円安傾向になって来る予定です。当然輸入するエネルギー価格が上昇するのがわかっているのに、日本のエネルギー政策としては安定供給先の確保が至上命題です。

安倍首相がソチの開会式に出席したのは、ロシアの天然ガスを確保するためです。また日本は独自に資源国北朝鮮ルートを、アントニオ猪木氏、飯島勲内閣参与を訪問させて繋いできました。モンゴルで横田めぐみさんの子供と、横田さんご夫妻の出会いを演出したのも資源外交の一貫です。どちらも米国の機嫌を損ねる事でした。そこで米国は、昔から北朝鮮への資金ルートである足利銀行の息がかかっている、みんなの党代表の渡辺氏を失脚させて北朝鮮と日本の関係をこじれさせています。

あれやこれやでシェールガス革命は、世界を一步一步エネルギー危機に向って進めているようです。これからの1～2年という長い目でみると円安、エネルギー高で恩恵を受ける銘柄が買われていくのではないのでしょうか！

平成26年4月21日

(株式講演家 三木文佑)



株式講演会の出張講演致します。
少人数でも喜んで。

090-5154-0515

株式投資帝王学 毎月第3土曜日 16時～21時

いよいよ 2014.10.18 (土) 開講

小人数システムですから、お早目にお申込み下さい。